

宝塚警察署長の

# 宝塚探訪

～つれづれなるままに… No.6～



宝塚市内の観光名所には、戦争にまつわる話が多くあると教えてもらったので、少し調べてみました。

宝塚で温泉と言えば、宝塚駅の南にある“宝塚温泉”が有名ですが、かつては子授り・安産祈願で有名な大本山中山寺の北西山腹に“摂津中山温泉”という温泉場があったようです。

色々な記録を見てみると、中山寺には昔第四師団があったこともあり、摂津中山温泉は負傷兵の療養・湯治場として数多くの負傷兵の傷を癒し、慰安し、傷が癒された兵士はまた戦地に赴いたそうです。

そういった歴史もあることから、中山寺の敷地内には“日清戦争”“日露戦争”“太平洋戦争”の各慰霊碑が建立されています。

また宝塚市内には、“紫電改”や“二式飛行艇”と言った戦闘機が設計され作られた”川西飛行機寶塚製作所（新明和工業(株)）”という会社が、今でいうと阪神競馬場あたりにあったようです。

全くの雑学になるのですが、“零戦”と“紫電改”の違いって、分かりますか？

一言で言ってしまえば「作った会社の違い」ということになります。

零戦は“三菱重工業”で、紫電改は“川西飛行機”で、第二次世界大戦の前半に主力だったのが零戦、後半に主力だったのが紫電改と言われています。(詳しくはネットで検索してみてください)

そんな関係で、戦闘機や航空隊にまつわる観光名所もあります。

そのような中、まず最初に、通称“宝塚聖天”と呼ばれている正式名称“東寺真言宗 宝塚聖天 七宝山了徳密院”というお寺に行ってきました。

お寺なのですが、お寺の入り口には“鳥居と狛犬”があったので、「なんで？」と疑問には感じましたが、後で調べてみると“神仏融合の名残”のようです。



このお寺は“ゼロ戦があるお寺”として有名で、正面の鳥居をくぐって境内を進み、境内敷地の奥にある墓地のところにコンクリート造りの建物の上にゼロ戦が載っていました。



ゼロ戦が載っている建物は、お盆の3日間しか公開されないようで、もう少し早く来れば良かったと若干後悔しました。

この建物も戦争にまつわる資料館のようで、中には入れませんでした。建物の周りには、戦地から家族に宛てた手紙なども展示されており、いろいろ考えさせられました。

宝塚聖天を出て、次は、かつて川西飛行機寶塚製作所があった阪神競馬場の北西角に、当時“川西飛行機 寶塚製作所 射撃試験場”という建物が今も現存していると聞いたので、そこを目指すこととしました。

ネットを検索していたら、寶塚製作所のためだけに一時期“鹿塩（かしお）駅”というのが、仁川駅と小林駅の間で、今の鹿塩踏切の北側にあったという

書き込みを見つけたので、探してみることにしました。

鹿塩踏切を見つけて線路沿いを良く見てみると、線路の東側、踏切から50メートルほど北に行った場所に大きな木が植わっており、その根元を見ると、明らかにホームでもあったと思わせるスペースがあったのですが、何ら痕跡らしいものはないものの、「ここにホームがあったんだろうな」と想像できる場所でした。



鹿塩踏切から東を見ると、もう目の前に阪神競馬場が見えるので、こんな場所に駅があったのなら、製作所に通っていた方々は便利だったんだろうなと思いました。

一応、自分なりにかつての鹿塩駅跡を発見したことから、次の目的地である阪神競馬場の北西角まで歩みを進めました。

かつての川西飛行機寶塚製作所は、昭和20年の空襲を受け、なくなってしまったようですが、近くにあった“川西飛行機 寶塚製作所 射撃試験場”だけ残ったようで、その建物を見つけることができました。



外からしか見ることはできませんが、三階建てで見るからに壁は分厚く作られているようなのと、一階部分には不思議な丸い窓？穴？が複数配置されていました。

この窓(穴)について、ネットで検索してみました。何なのか？なぜこんな配置になっているのか？等々疑問が何一つ解決出来ませんでした。当時の面影を見ることはできませんでした。

ちなみに、一時期この建物に人が住んでいたという記録もありました。

最後に、「戦闘機を作っていたのだから、航空隊があったのではないか？」と思い調べてみたところ、昭和19年に非常措置令によって宝塚大劇場が閉鎖され大劇場が海軍に接收されたようです。

その後、滋賀海空隊奈良分遣隊から第13期甲種飛行予科訓練生役1,000人

が配置され滋賀海軍航空隊宝塚分遣隊となり、その後宝塚海軍航空隊に改名し述べ役 4,000 人が宝塚大劇場や周辺施設を利用したという記録がありました。

記録では、14 歳から予科練生として訓練を受けていたようですが、実際のところは飛行訓練よりも、土木作業をしていた時間の方が長かったようです。

何も知らなかったとはいえ、宝塚大劇場が航空隊になっていたとは…



当時、宝塚大劇場が航空隊だったことを示す石柱が、大劇場のゲートを入った右手植え込みにひっそりと建てられていました。(大劇場の正面ゲートから中庭にかけては大劇場公演日だと入ることができます。)

興味をお持ちになられた方は、宝塚へお越しあれ。